

事務局だより

◆: W S F ジャパン事務局が移転しました。明園マンションの二〇二号室から、お隣の二〇三号室へと数メートルの移転ですが、これにともない、事務局直通の電話も開設されました(〇三―三六八七―四三六〇)。時間は月曜日から金曜日の午前十時から午後六時です。住宅街の中にある、静かな明るいオフィスです。皆さん、是非一度、お立ち寄りください。

◆: W S F ジャパン事務局では、事務局の運営、W S F ジャパン・ニュースの発行などのお手伝いをしてくださる方を募集中です。詳細は事務局まで。
◆: スポーツと栄養。とても大切なテーマです。以前にくらべ、だいぶ注目されるようになりましたが、的確な情報はまだまだ、十分ではないようです。

先ごろ(株)ミューズから、スポーツ栄養ガイドシリーズ「みんなのスポーツダイエット」(一般向き)、「頭で食べて強くなる」(選手・コーチ向き)が発行されました。例えば、日中にテニスをする主婦の場合の献立例や、種別・スポーツ選手の食事のとり方などが、具体的にわかりやすく紹介されています。

コンパクトなテキストサイズで、全

ページカラー、解説よりも写真や絵で理解できるように配慮されています。購入冊数によって、送料無料や割引があります。

お問い合わせは、(株)ミューズ(〇三―三六八七―二八七二)まで。



◆: J O C (日本オリンピック委員会)のキャンペーン「マガジン「オリンピック」」が2月14日に発刊されました。オリンピック・ムーブメントを推進するための雑誌で1部400円で市販されています。この編集委員として W S F ジャパンの三ツ谷代表も加わっています。月刊誌なので月1回、編集会議があり、また「スポーツ経済学」という連載の執筆も持たされ忙しいがさらに増しました。「それでも、外部の団体にも加わって言うべきことはき

ちんと言い、やるべきことをきちんとやること、ひいては女性スポーツに対する正しい認識を持ってもらうことにつながる」とがんばっています。

◆: 今号から新しい装訂になりましたが、いかがでしょうか。ジックにまとめた、というところですが、皆様のご感想、お聞かせください。

ところで、当初、この号の発行は昨秋というつもりでしたが、編集サイドの手が足りず大幅に遅れてしまいました。広告を載せていただいた企業の方々、また会員の皆様にもお詫びします。ただ、今回は従来いじょうに会員から原稿執筆に関してご協力をいただきました。新年度は何とか「期限厳守」で取り組めます。よろしく願います。

新入会員紹介

- 〈団体会員〉▽ワコム(パドミン)・トンチーム(東京・豊島区)▽3 B 体操協会(大阪・大阪市)
- 〈個人会員〉▽下条由紀子(東京・目黒区)▽田中菊子(千葉・流山市)▽旗 昭一(東京・中央区)▽小笠原悦子(鹿児島・鹿屋市)▽戸塚真佐子(東京・渋谷区)
- 〈学生会員〉▽飯田絵美(神奈川・川崎市) (二月三十日現在)

W S F ジャパンとは:

W S F ジャパン(女性スポーツ財団日本支部)は、米国の W S F をお手本とし、日本の女性スポーツの発展、振興を目指し一九八一年十二月に旗揚げされた非営利の団体です。会員は選手、指導者をはじめ、一般のスポーツ愛好者、研究者、スポーツビジネスにかかわる企業関係者など、男女を問わずさまざまな分野にわたっています。会員の会費を財政基盤として運営されています。

入会金 年会費

- 学生会員: 三千元 五千元
- 個人会員: 三千元 八千元
- 団体会員: 五千元 一万五千元
- 賛助会員: 五千元 十万元(一口)

W S F Japan News

第21号 季刊

発行 一九九二年三月

発行人 三ツ谷洋子

編集 W S F ジャパン広報委員会

発行所 W S F Japan

東京都渋谷区西原

TEL 〇三(三四六七)四三六〇

FAX 〇三(三四六七)五四五五